

八幡平市

要望月日	要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
8月5日	<p>【1 企業立地促進奨励事業費補助金の対象の拡充について】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の流行により、情報通信を中心としたテレワークに親和性の高い業種が、地方に目を向けている。市内では、IT系の起業や東京23区内からの本社移転事例が発生しており、無形固定資産投資への支援が求められています。</p> <p>また県内の新規立地は低調な情勢が続いている中で、市内では相次いで大型の新規投資が続いています。</p> <p>つきましては、次のとおり県の企業立地促進奨励事業費補助の対象の拡充を要望します。</p> <p>1 固定資産投資額としてソフトウェアなど償却資産に位置付けられる無形固定資産も対象とするよう要望します。</p> <p>2 地場企業も対象とするよう要望します。</p> <p>3 増設に関して、雇用者数要件の引き下げを要望する。</p> <p>4 1企業あたりの累積補助1億5千万円の上限撤廃を要望します。(新規)</p>	<p>1 企業立地促進奨励事業費補助金(以下「補助金」という。)については、県及び市町村における税源涵養の観点から、一定程度の税収が見込めるような相当規模の設備投資を補助対象とするほか、雇用創出を要件としてきたところです。</p> <p>ソフトウェア等については、今後、DXやIoTの進展などにより、IT関連企業をはじめあらゆる産業において、その活用の拡大が想定されることから、県としては、他県の状況を参考としつつ、産業界の動向や具体の企業ニーズを踏まえ、市町村と連携した支援策について、引き続き検討していきます。(B)</p> <p>2 また、本補助金は、企業立地により地域経済の活性化及び雇用の拡大等を図ることを目的として、域外からの誘致を促進しようとするものであり、限られた財源の中で、地場企業まで対象を拡大することは難しい状況にありますが、補助制度を含めた支援のあり方については、企業ニーズなどを踏まえて、より良い方策を検討していきます。</p> <p>なお、県では「特定区域における産業の活性化に関する条例」において、地場企業・誘致企業の別を問わず不動産取得税及び事業税の減免措置、「地域経済牽引事業の促進区域における県税の課税免除に関する条例」において、不動産取得税の課税免除措置を設けています。(C)</p> <p>3 本補助金については、他県との競争力の比較、業界や産業動向、地域の事情等を勘案して不断の見直しを行っているところであり、増設の際の雇用者数要件につきましても、県内他地域の状況、雇用情勢等に勘案しながら、引き続き検討していきます。(C)</p> <p>4 本補助金は限られた財源の中で、より多様な企業が県内における経済活動を拡大できるよう、1企業あたりの累積補助について一定の上限を設けているところですが、企業ニーズなどを踏まえながら、より良い方策について検討していきます。(C)</p>	盛岡広域振興局	経営企画部	B : 1 C : 3

八幡平市

要望月日	要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
8月5日	<p>【2 三ツ石山登山道の早期整備について】</p> <p>十和田八幡平国立公園八幡平地域は、八幡平アスピーテライン、八幡平樹海ラインを利用することによって気軽に訪れることができることも魅力の一つで、登山や散策、ドライブ等で県内外から多くの観光客に親しまれています。</p> <p>登山・散策コースのうち、三ツ石山は岩手県内で早い時期の紅葉スポットで9月上旬から中旬にかけて多くの登山客が訪れ、年々来訪者数が増加しています。</p> <p>しかし、登山道は降雨により洗堀されるとともに、木道・木柵も経年劣化により荒廃が進み登山に危険な状況となっています。</p> <p>また、登山道の荒廃により、登山道脇への踏み込みも発生していることから、植生への影響も心配されているところです。</p> <p>つきましては、現地調査等により現状を把握いただき、早期の三ツ石山登山道の再整備を要望します。</p>	<p>自然公園施設の整備については、多くの市町村から再整備や補修の要望があり、施設の利用状況や老朽化及び損傷の状況を把握し、施設の安全確保を優先して整備を進めています。</p> <p>国立公園に係る整備は、自然環境整備計画に基づいて進めており、昨年度から八幡平市の黒谷地湿原の木歩道再整備に着手したところです。</p> <p>三ツ石山登山道については計画に位置付けられておらず、今後、貴市との意見交換や現地調査等の現状把握を行い、計画への位置づけを進めていきたいと考えています。</p> <p>なお、危険箇所等につきましては、自然公園保護管理員によるパトロールなどにより適宜把握に努め、貴市と連携しながら登山者に対する周知や安全対策を講じていきます。(B)</p>	盛岡広域 振興局	保健福祉環 境部	B : 1

八幡平市

要望月日	要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
8月5日	<p>【3 国道282号の改良整備促進について】</p> <p>1 松川地区右折レーン設置について 国道282号と市道いこいの村線のT字路交差点は、早朝の通勤、通学時間帯に混雑し、特に盛岡方面に向かう国道282号から市道いこいの村線への右折車がある場合は直進できず、西根バイパスの交差点付近まで渋滞する状況となっております。 また、特に冬期間の早朝は慢性的な渋滞が発生することから、右折レーンの設置が望まれている状況です。 令和3年度において、信号機を時差式に改善していただきましたが、抜本的な解決には至っていない状況です。</p> <p>2 五日市地区道路局部改良及び流雪溝の設置について 五日市地区五日市橋付近は、安代小学校、安代中学校の通学路となっておりますが、急カーブで見通しも悪く、特に、降雪期は路肩の堆雪により幅員が狭小となり、大型車のすれ違いは一方が待機しているなど通行に支障をきたしています。また、過去には隣接する家屋への物損事故も発生していることから、道路の局部改良による見通しの改善が望まれている状況です。 また、国道沿線は、歩道は設置されているものの、除雪による堆雪が多く排雪場所の確保が困難なため、歩道は狭くなり歩行者の通行に支障をきたしています。このことから、冬期の安全確保のため、早期に流雪溝の整備が望まれている状況です。</p> <p>3 竜ヶ森地区スノーシェルター拡幅整備及び登坂車線の改良について 竜ヶ森地区スノーシェルターは、狭隘区間があり大小カーブの連続で路面勾配もきついなどの要因から、交通事故が発生しており、スノーシェルターの拡幅整備が望まれている状況です。 また、冬期間において、登坂でスリップし停車する車両があり、これに起因し大渋滞が毎年発生します。さらに平成29・30年の年末年始に連続して交通死亡事故が発生するなど危険箇所であるため、小屋の沢付近から安比高原の十字路交差点までの登坂2車線化が望まれている状況です。 さらに、平成31年4月6日付け、岩手日報において安比地区への国際スクール開校が掲載され、2千人規模の学園都市形成を目指す大型プロジェクトが始動したところです。令和4年8月開校により、さらなる交通量の増加が見込まれることから、当該箇所の重点的な整備が望まれている状況です。</p> <p>4 兄畑中川原地区道路改良整備及び橋りょう架け替えについて 兄畑中川原地区兄畑橋付近は、幅員が狭いうえ、急カーブで見通しも悪く、特に降雪期の除雪により、路肩に堆雪があるときなどは、大型車のすれ違いができないなど、渋滞が発生している状況から、道路の拡幅及び橋りょう架け替えが地域のみならず通行車両からも望まれている状況です。 また、秋田県境側に歩道の未設置区間がありますので早期の設置が望まれている状況です。</p> <p>5 北森駅東口周辺の歩道設置について 北森駅東口付近については歩道が整備されていないため、通勤・通学や市役所来庁者への歩行者の安全確保に支障をきたしている状況となっております。 つきましては、上記5地区の道路整備をしていただきたく、特段のご配慮をお願いいたします。</p>	<p>① 右折レーン設置については、早期の整備は難しい状況ですが、信号機改良後の交通状況等を見極めながら、総合的に判断していきます。(C)</p> <p>② 五日市地区については、豪雪等により円滑な交通が困難となる場合もあるため、車道除排雪等に万全を期しているところです。局部改良及び流雪溝の設置については、早期の整備は難しい状況ですが、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら総合的に判断していきます。(C)</p> <p>③ 竜ヶ森地区については、安全な交通を確保するため、スノーシェルター内に運転者の安全運転を促すための注意標識や減速マーキング等を設置しているところです。スノーシェルターの拡幅整備及び登坂車線の改良については、早期の整備は難しい状況ですが、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら総合的に判断していきます。(C:2)</p> <p>④ 兄畑中川原地区については、豪雪の際には道路幅員が狭小となるなど円滑な道路通行確保が困難となる場合もあるため、車道除排雪等に万全を期しているところです。道路改良整備及び橋梁架替については、早期の整備は難しい状況ですが、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら引き続き総合的に判断していきます。(C)</p> <p>兄畑中川原地区の秋田県境側の歩道整備については、早期の整備は難しい状況ですが、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら総合的に判断していきます。(C)</p> <p>⑤ 北森駅東口周辺地区については、道路東側(市役所の反対側)に歩道を整備済みであり、要望の西側の歩道については、早期の整備は難しい状況ですが、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら、総合的に判断していきます。(C)</p>	盛岡広域振興局	土木部岩手土木センター	C:7

八幡平市

要望月日	要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
8月5日	<p>【4 一般県道の改良整備促進について】</p> <p>1 一般県道岩手大更線について 本路線は、当市大更地区と岩手町を結ぶ幹線道路であり、大更小学校と西根中学校の通学路にもなっていますが、西根バイパスが供用されたことにより、交通量が増加しているものの、歩道が整備されていないため、通学や日常生活での歩行者の安全確保に支障をきたしている状況となっています。</p> <p>2 一般県道渋民田頭線について 田頭コミュニティーセンター付近について通学路となっておりますが、歩道の幅員が狭く、通学や日常生活での歩行者通行が危険な状況となっています。 また、大更小学校から市道大更線十字路までの区間についても、通学路となっておりますが、歩道の幅員が狭く歩行者通行が危険な状況となっております。（新規、重点） つきましては、地域住民の安心・安全と円滑な交通を確保するため、上記2路線の早期改良整備及び歩道整備・拡幅について、特段のご配慮をお願いいたします。</p>	歩道整備については、県内各地から多くの要望があり、必要性、緊急性等を考慮しながら整備を進めており、一般県道岩手大更線及び一般県道渋民田頭線の歩道整備・拡幅については、早期の整備は難しい状況ですが、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら総合的に判断していきます。（C：3）	盛岡広域 振興局	土木部岩手 土木セン ター	C：3

八幡平市

要望月日	要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
8月5日	<p>【5 主要地方道の改良整備促進について】</p> <p>1 主要地方道岩手平舘線について 本路線は、本市平舘地区と岩手町を結ぶ幹線道路で、地域の生活関連道路として重要な路線となっております。寺田小学校、平舘小学校、西根第一中学校への通学をはじめ、高校生や通勤者などの歩行者が多く利用していますが、寺田地区の歩道に一部未設置区間（上関～帷子）があり、歩行者の通行に支障をきたしており、危険な状況となっております。</p> <p>2 主要地方道大更八幡平線について 本路線は、アスピーテラインを経由して岩手県と秋田県を結ぶ観光道路であり、沿線住民にとっても重要な幹線道路となっております。寄木小学校、松尾中学校への通学路となっておりますが、鹿野地区に歩道未設置区間があり、児童や歩行者が車道部を通行しなければならず、特に、冬期間は歩行スペースが無く危険な状態となっております。また、田頭地区の一般県道渋民田頭線との交差点付近は狭隘であり大型車のすれ違い通行に支障をきたしていると共に、一部歩道の未設置区間があり、歩行者の通行に支障をきたしている状況です。</p> <p>3 主要地方道二戸五日市線について 本路線は、二戸市から旧浄法寺町を経て本市に至る県北地域の幹線道路であるとともに、東北新幹線二戸駅へのアクセス道路にもなっています。湯の沢地区から土沢地区まで（川原地区から日影地区間は改良整備終了）は歩行空間もなく見通しも悪く、特に岩屋地区入り口付近から二戸市との市境までの区間は、地域住民が交通事故の危険にさらされており、早期改良が求められています。</p> <p>4 主要地方道葛巻日影線について 本路線は、本市と一戸町及び葛巻町を結ぶ県北地域の幹線道路であり、安代地域に連絡する重要な路線となっております。本路線を奥中山高原、田代平及び安比高原を結ぶ広域観光ルートとして、利活用を検討しておりますが、急カーブが多く、大型車の通行に支障をきたしている状況です。 つきましては、上記4路線の早期の改良整備をしていただきたく、特段のご配慮をお願いいたします。</p>	<p>①主要地方道岩手平舘線の寺田地区の歩道整備については、早期の整備は難しい状況ですが、交通量の推移や、公共事業予算の動向等を見極めながら総合的に判断していきます。（C）</p> <p>②主要地方道大更八幡平線の松尾寄木地区及び田頭地区の歩道整備については、早期の整備は難しい状況ですが、積雪量の状況や交通量の推移や、公共事業予算の動向等を見極めながら総合的に判断していきます。（C：2） また、田頭地区については、早期の整備は難しい状況ですが、交通量の推移、公共事業予算の動向等を見極めながら総合的に判断していきます。（C）</p> <p>③主要地方道二戸五日市線については、早期の整備は難しい状況ですが、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら総合的に判断していきます。（C）</p> <p>④主要地方道葛巻日影線については、円滑な道路通行の確保を図るため、1.5車線の整備を完了しており早期の整備は難しい状況ですが、交通量の推移や予算の動向等を見極めながら総合的に判断していきます。（C）</p>	盛岡広域 振興局	土木部岩手 土木セン ター	C：6

八幡平市

要望月日	要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
8月5日	<p>【6 スマートインターチェンジの整備促進について】</p> <p>スマートインターチェンジは、防災、救急医療、観光など多面的分野における移動時間の短縮と、観光人口の誘客を図るため、松尾八幡平インターチェンジと安代インターチェンジ間への整備を計画しているものです。</p> <p>安全安心な街づくりと地域の発展に大きく寄与する施設整備が望まれている状況です。今後、各種管理者との事業協議についてご支援をお願いします。</p> <p>つきましては、整備実現に向け支援をしていただきたく、特段のご配慮をお願いいたします。</p>	<p>スマートインターチェンジは、高速道路の利便性が向上することに加え、物流の効率化、医療機関へのアクセス向上、観光振興などの面で地域に多様な効果をもたらす事業であると認識しており、(仮称)八幡平スマートインターチェンジについては、令和4年9月、国により新規事業化されたと承知しています。県としても、引き続き国による準備段階調査や貴市の検討の状況に応じて、技術的・実務的な助言等を行っていきます。(A)</p>	盛岡広域 振興局	土木部岩手 土木セン ター	A:1

八幡平市

要望月日	要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
8月5日	<p>【7 一級河川の改修事業の促進について】</p> <p>1 一級河川安比川浅沢地区の河川改修事業について 本河川は、本市日影地区から二戸市との境界まで約3,800mを平成13年度から河川改修事業を実施していただいておりますが、平成19年9月豪雨では岩木地区が冠水しました。その後においても幾度となく避難をしており、平成30年5月も増水により避難を余儀なくされ、市民に不安を与えている状況となっております。 事業着手から20年が経過しておりますが、進捗は50%余りとなっている現状であり、再度災害を懸念しているところです。昨今は河道掘削した流用土による築堤の整備など実施していただいている状況ですが、更なる沿川の治水安全度の向上と事業進捗の推進についてご配慮をお願いします。 このことから、岩屋地区から岩木地区の間の河川改修事業の早期完成を強く要望します。</p> <p>2 一級河川安比川小屋の畑地区の河川改修事業について 欠の山に近接して狭隘な箇所を国道282号、JR花輪線が並走する小屋の畑地区においては近年、大雨で河川の増水・氾濫により護岸の決壊等の甚大な被害の発生や、河川の洪水の影響により、JR花輪線の運休や国道282号が冠水するなど被害が発生しております。 また、市道鴨志田線は、県と市の協議において、冬期間の高速道路通行止めなどの際には、国道282号の迂回路（現状では幅員狭小のため一方通行）として指定している路線でもあり、緊急時には、国道282号の代替路線としての性格を持っています。 本路線の整備にあたり、一部河川の水衝部となっている箇所があり、兼用護岸整備については多額の費用が見込まれることから河川付替えなど抜本的対策が望まれております。 市道鴨志田線の工事実施に伴い、河川改修等を含めた具体的な対策について検討をしていただきたく要望いたします。</p> <p>3 一級河川松川の河川改修事業について 平成25年9月の台風18号に伴う大雨により、本河川は、これまでにない増水・氾濫で、多くの護岸決壊や河川周辺土地の冠水など、甚大な被害が発生し、河川沿いに居住している一部住民も避難を余儀なくされました。 被災した箇所の災害復旧事業に取り組んでいただきましたが、平地部の流れが緩やかな区間などでは、土砂堆積により河床が高くなった区間も散見され、河川沿い住民からは、今後の少しの大雨でも洪水が発生するのではないかとの不安の声が多い状況です。 このことから、河川改修などの総合的な洪水対策が必要ではありますが、住民生活安定のため、当面の対策として河道掘削などにより堆積土砂を撤去し、河川流下断面を確保することにより、洪水などの再度災害の防止が望まれています。 つきましては、上記2河川の早期の改修等整備をしていただきたく、特段のご配慮をお願いいたします。</p>	<p>管内の河川改修事業については、近年の洪水による家屋の浸水被害箇所等を優先して整備を進めているところです。</p> <p>1 安比川については、平成13年度から浅沢地区河川改修事業として着手し、家屋の多い岩屋・岩木集落周辺を優先して整備を進めており、令和4年度は令和3年度用地補償を進めた岩木工区の築堤及び河道掘削工事を進めています。（A）</p> <p>2 小屋の畑地区については、これまでの被災状況や周辺の土地利用状況を勘案し、貴市と調整を図りながら治水対策の検討を進めていきます。（B）</p> <p>3 松川については、平成29年度に平笠地区、令和2年度に松川温泉地区で河道掘削を実施しており、定期的に河川巡視等を行い、家屋への浸水被害の恐れがある区間や緊急を要する箇所から、適切に河道掘削等を進めていきます。（A）</p> <p>また、住民の円滑かつ迅速な避難を促すため、安比川・松川ともに、水位周知河川及び想定最大規模の洪水浸水想定区域を指定したほか、危機管理型水位計や河川監視カメラを設置したところであり、今後もハード対策とソフト施策を効果的に組み合わせた防災・減災対策に取り組んでいきます。</p>	盛岡広域振興局	土木部岩手土木センター	A：2 B：1

八幡平市

要望月日	要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
8月5日	<p>【8 特別支援学校の八幡平分教室の設置について】</p> <p>令和3年9月7日に、八幡平市市外の支援学校の小学部・中学部・高等部に通学している児童生徒30名と就学前の幼児1名の保護者31名を対象にアンケート調査を実施した結果、約8割の保護者が「設置を望む」と回答しています。</p> <p>設置を希望する理由は①通学時間の短縮による児童生徒の身体的・精神的負担の軽減と保護者の送迎の負担軽減②分教室の設置により、市内小・中学校と関わりを持つことによる障害に対する理解の促進③今後、配慮を必要とする児童生徒の増加が見込まれる。これらの理由により、他の児童生徒と同じように市内の学校に安全に安心して通学させるため、特別支援学校八幡平分教室の設置を強く要望します。</p>	<p>分教室の設置については、引き続き市町村等からの御意見を伺いながら、各地域の実情把握に努めます。</p> <p>また、2024年度からの次期「岩手県特別支援教育推進プラン」において、児童生徒数の動向や全体的な学校配置のあり方等を勘案し、総合的な視点により検討を進めます。(C)</p>	—	盛岡教育事務所	C : 1